

ひばり 9

9月号

令和 7 年 9 月 1 日 (月)
府中市立府中第九小学校
校長 日野 正宏
特別支援教室「ひばり」



2学期が始まりました。

1か月以上あった夏休みは、みなさんどのようにお過ごしだったでしょうか。慌ただしかった1学期の疲れを、夏休みでリフレッシュできていたら嬉しいです。

いよいよ2学期がスタートしました。休み明けは、生活のリズムを取り戻すまでに少し時間がかかることと思います。お子さんと朝や放課後の過ごし方について話題にしてみてください。また、2学期も様々な学校行事が行われます。暑さや疲れから落ち着かない様子が見られるかもしれません。何か心配なことがありましたら、連絡ファイル等でお知らせください。充実した2学期が送れるように教員一同、子供たちと共に頑張ってみます。どうぞよろしくお願いいたします。

2学期の予定 (9月)

9月 1日 (月) 始業式

5日 (金) ひばり教室 指導開始 (九小・一小★月曜振替指導)



保護者学習会

- 日時 令和7年10月21日 (火)
受付: 14:00~ 講演: 14:15~15:15頃まで
懇談会: 15:15~15:45まで
- 場所 府中第一小学校 2階 第2ホール
- 講演内容 中学校特別支援教室の概要、小学生のうちに身に付けておきたいこと、中学卒業後の進路のことなど
- 講師 府中第五中学校 主幹教諭 樋口 貴代先生 (特別支援教室 教室主任)
- 持ち物 保護者証 (お子様の通われている学校のもの)、上履き、靴を入れる袋
※分からないことや気になることなどありましたら、いつでもお問い合わせください。
府中市立府中第九小学校 TEL 042-361-9009

～個人面談ありがとうございました～

お忙しい中、御都合を調整していただきありがとうございました。1学期の指導の成果や2学期に向けての課題、家庭や在籍学級での様子も伺うことができました。お話ししたことを2学期の指導に生かしていきます。



～7月の学習活動～



◆◇グループ学習の様子（7月の指導から）◇◆

『活動紹介』

「こんなときどんな気持ち」～表情に気付く～（下学年）

気持ちに合わせて表情が変化することや、表情から気持ちを考えることを学びました。場面を想像して自分の気持ちについて考えたり、相手の気持ちを知ったりする経験をしました。

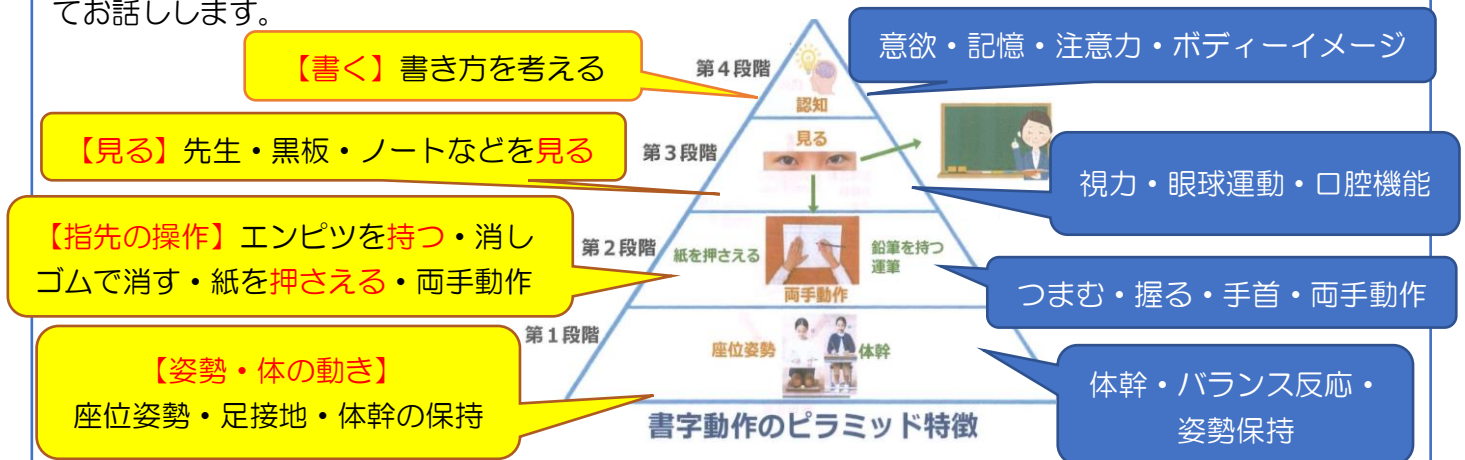


「うまくいかなくても大丈夫」～怒りとの付き合い方・気持ちの切り替え方～（上学年）

自分のイライラした気持ちに付き、怒りの対処法を知って試す学習です。対処法は「言葉」と「行動」の視点で子供たちのアイデアと教員の案も加えてたくさん出し合いました。「6秒数える、深呼吸、水を飲む、ストレッチ、その場でジャンプ、絵を描く等」の中から自分が実践できそうなものを選び、「イライラサーキット」を行いました。「トランプタワー」がうまくできなくて、イライラしている子に対して、「〇〇くん、深呼吸だったよね、深呼吸。」と声を掛けると深呼吸して落ち着きました。言葉で「まあいっか、次がある、大丈夫」と言いながら落ち着く児童もいました。自分に合った対処法を見付け、イライラしたときや、うまくいかないときに使えるといいなと思います。

～読み書きについて～

「ノートが書けない」、「書く時間がかかる」、「字がきたなくて読めない」、「読む速度が遅い」など、読み書きに悩みがある児童や保護者からの声を聞くようになりました。『読めない』『書けない』といっても様々な要因があります。今回は『書けない』に視点をおいて「文字を書くための土台作り」についてお話しします。



字が書けないと困っているお子さんの様子を見てみると、実は椅子に座る力（姿勢保持）をするための体幹（腹筋・背筋）やバランスが弱いことがあります。また「握る」「つまむ」力が弱くて鉛筆がうまく持てない【指先の操作】など、書字動作の第一、第二段階の書くための基礎が育っていない場合があります。体・指先の力が付いていたとしても、黒板を見る目「眼球運動」の動きの鈍さがあると速く書くことができません。「書く動作」や「書くための意欲」、「書いて記憶する力」は、上の表のトップにあります。つまり下の3段階が育っていないと「書けない」という状態として表れてきます。このように書くことができるようになるためには、たくさんの土台の力が必要です。ひばりでは、お子さん一人一人の状態を見て必要な力を付けつつ、書字の具体的な支援をしています。書けないからたくさん書かせるのではなく、どの段階につまずきがあるのか、という視点で見ていただけるとよいと思います。